

## 施設基準を克服しよう①

### ～意外と簡単な外後使届け出～

伊丹市・かわむら歯科医院 川村 雅之（歯科医師）

【共同研究者】川村 美保（薬剤師）

#### 【はじめに】

ゼロ品という言葉がジェネリックという新しい言い方によって久しいが、やはり後発医薬品には「効果が十分ではないのではなかろうか」という意識が付きまとう。このことが、後発医薬品の使用をためらわせ、なかなか外来後発医薬品使用体制加算の施設基準を満たさないのではなかろうか。

#### 【馬鹿にならない加算点】

外来後発医薬品使用体制加算は2点から5点あり、処方料算定ごとなので、外科処置の多い歯科では馬鹿にならない点数になる

#### 【後発医薬品を知る】

一言でジェネリックと言っても、主成分以外は全く違うものから、全く同等なAGまで色々ある。上手に使いえば質を落とさずジェネリックが使用できる。